

# 環境活動レポート

-平成 30 年度(H30.8～R1.7)版-

令和 1 年 8 月 20 日



**KANEKO**

金子商事株式会社

## 《環境方針》

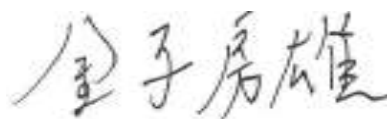
私たちは、地球温暖化をもうこれ以上放ってはおけないという気持ち、何かをしなければならないという気持ちから、エコアクション 21を始めました。また、当社の本業である廃棄物等の収集運搬では、「お客様第一たれ」をモットーに業務を遂行してまいります。さらに、当社  
の関係する環境関連の法律、規制、条例等の遵守はもとより、以下の環境目標に取組み、継続的改善に努めてまいります。

- (1) 排出事業者とのコミュニケーションを密にし、分別の提案によりリサイクル量の拡大を図ります。
- (2) アイドリングストップ、エコドライブにより収集運搬車両の燃費向上を図ります。
- (3) 省エネ、グリーン購入、カーボンオフセット等により、二酸化炭素排出量を削減します。
- (4) 節水により、上水使用量を削減します。
- (5) KYT、ヒヤリ・ハット報告により、緊急事態の予防を図ります。

当社の環境活動内容を環境活動レポートで公開します。  
また、当社の環境方針は社内に掲示し全ての従業員に周知します。

H19年4月1日制定  
H24年8月21日改訂

金子商事株式会社  
代表取締役



## 2. 組織の概要

(1)法人設立年月日 平成 11 年 8 月 5 日

(2)資本金 1000 万円

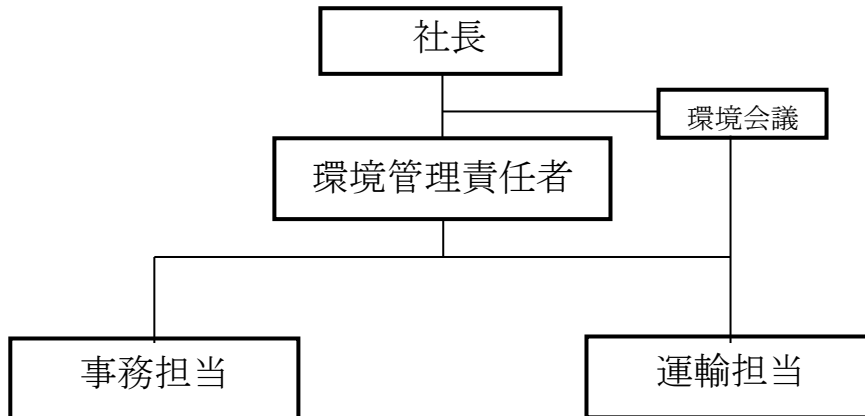
(3)売上高

平成 28 年度：138 百万円

平成 29 年度：130 百万円

平成 30 年度：160 百万円

(4)組織図



(5)事業所名及び代表者名

事業所名：金子商事株式会社

代表者名：金子房雄

(6)所在地

埼玉県久喜市菖蒲町上大崎 424-1

(7)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名：金子昭雄

担当者連絡先：埼玉県久喜市菖蒲町上大崎 424-1

(電話)0480-87-1107

(FAX)0480-87-1108

(8)事業活動の内容

(a)一般廃棄物の収集運搬

①久喜市許可 一般廃棄物収集運搬業許可 久宮衛指令第 33 号

・許可期間 H30.4.1～H32.3.31 ・取扱廃棄物の種類 一般廃棄物(ごみ)

②上尾市許可 一般廃棄物収集運搬業許可 上西環許可第 30-ご 8 号

・許可期間 H30.4.1～H32.3.31 ・取扱廃棄物の種類 一般廃棄物(し尿を除く)


③加須市許可 一般廃棄物処理業許可 加資許第 145 号

・許可期間 H31.4.1～H32.3.31 ・取扱廃棄物の種類 一般廃棄物(特定家庭用機器)

(b)産業廃棄物の収集運搬の許可の内容 (※優良認定)

廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類 (注1)	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず (注2)	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず (注3)	鉱さい	がれき類	ばいじん	許可番号 許可年月日 許可の有効年月
埼玉県※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	01101066282
																	H29.1.24
																	H36.1.12
(特管) 埼玉県			○ 注4														01151066282
			H28.7.27														
			H35.7.26														
東京都			○ 注5	○ 注6	○	○	○	○	○		○	○			○		第13-00-066282
			H29.11.10														
			H36.11.9														
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		01200066282
																	H30.8.3
																	H37.6.24
栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		00900066282
																	H29.7.8
																	H36.7.7
(特管) 栃木県			○ 注8	○	○												00950066282
			H30.10.31														
			H35.10.30														
群馬県		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○		01000066282
																	H30.1.19
																	H37.1.18
茨城県	○	○	○			○	○	○		○ 注7		○	○		○		00801066282
						H29.9.26											
						H36.8.30											
神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		01402066282
																	H28.2.26
																	H35.1.20

- (注1) 自動車等破砕物を除く(但し、栃木県を除く)
- (注2) 自動車等廃棄物を除く(但し、栃木県を除く)
- (注3) がれき類及び自動車等破砕物を除く(但し、栃木県を除く)
- (注4) 揮発油類、灯油類及び軽油類に限る
- (注5) 滴下焼却できるものに限る
- (注6) 塩化第二鉄を除く
- (注7) 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く
- (注8) 揮発油類、灯油類及び軽油類、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンに限る



金子商事は埼玉県・群馬県・茨城県・東京都・神奈川県より  
優良認定された産業廃棄物（産廃）処理会社です。  
通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアし、  
遵法性や事業の透明度が高く、財務内容も安定している証です。

①実績と遵法（16年営業実績と違反のない遵法事業者）  
②事業の透明性（産廃事業の情報公開）  
③環境配慮への取り組み（エコアクション21認証）  
④産業廃棄物処理法に基づく電子マニフェストがご利用いただけます。

(c) 運搬車両車両

- ・ 4トンアームロール車 3台
- ・ 7トンアームロール車 1台
- ・ 4トン平ボディ 2台
- ・ 4トンパッカー車 1台
- ・ 1.5トン平ボディ 1台

(d) 収集運搬実績

単位 トン

収集運搬量	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般廃棄物	14	9	10
産業廃棄物	5941	4199	5997
廃プラ	1296	1,375	2146
金属	1420	732	817
木くず	726	574	646
がれき	155	279	248
汚泥	196	266	477
もえがら	17	16	18
廃油	356	81	91
ガラス陶磁器	755	729	1174
紙くず	1024	147	380
リサイクル品(合計)	4752	3401	4651
*最終処分(合計)	1189	798	1346

\* 廃プラと汚泥とガラス陶磁器の一部を処分

(e) 廃棄物処理料金

個別見積による(見積料は無料)。

(f) 事業の規模

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
従業員(人)	9	10	10
敷地面積(m <sup>2</sup> )	843	843	843

3. 対象とする組織及び活動

- ・対象組織：本社（駐車場含む）
- ・対象活動：一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業（特別管理産業廃棄物を含む）

4. 環境への負荷の状況

		単位	H28 年度	H29 年度	H30 年度
総エネルギー 投入量	購入電力	MJ	56444	80665	68191
	軽油	MJ	1113606	1138398	1260600
	ガソリン	MJ	174003	171651	156669
	灯油	MJ	8735	10790	12515
水資源投入量	上水	m <sup>3</sup>	96	107.5	69
二酸化炭素排出量	二酸化炭素	Kg-CO <sub>2</sub>	91495	94348	101254
産業廃棄物排出量	廃油(再生)	t	0.15	0.15	0.15

※二酸化炭素排出係数は、東京電力 0.000474t-CO<sub>2</sub>/kwh

5. 環境目標とその実績

環境目標 3 年計画	H30 年度計画	H30 年度結果	評価
収集運搬のリサイクル量を H29 年度実績(3,401 トン)に対し、H32 年度までに 6%拡大(3,605 トン)する。	収集運搬のリサイクル量を H29 年度実績(3,401 トン)に対し、2%拡大(3,469 トン)する。	目標値 3,469 トンに対し 4,651 トンのリサイクル量となり、大幅に目標達成。	○
収集運搬車の燃費を H29 年度実績(5.042km/l)に対し、H32 年度までに 3%向上(5.193km/l)させる。全車両 8 台。	収集運搬車の燃費を H29 年度実績(5.042km/l)に対し、1%向上(5.092km/l)させる。	目標値 5.092km/l に対し 5.648km/l で、目標達成。	○
二酸化炭素排出量は、削減に取り組みながら数値を把握する。カーボンオフセットに取り組む。H23 年度実績(現状を 0 品目とする)に対し、H32 年度までに プラス 9 品目を購入する。	グリーン購入は、H23 年度実績(現状を 0 品目とする)に対し、にプラス 7 品目を購入する。	目標のグリーン購入プラス 7 品目に対し 7 品目購入した。	○

環境目標 3年計画	H30 年度計画	H30 年度結果	評価
上水の使用量を H29 年度実績 (107.5 m <sup>3</sup> ) に対し、H32 年度までに 3%削減 (104 m <sup>3</sup> ) させる。	上水の使用量を H29 年度実績 (107.5 m <sup>3</sup> ) に対し、1%削減 (106 m <sup>3</sup> ) させる。	目標値 106 m <sup>3</sup> に対し 69 m <sup>3</sup> で大幅に目標達成。	○
KYT、ヒヤリ・ハット報告により緊急事態の予防を図る。	KYT 年 12 回、ヒヤリ・ハット報告月 1 回、実施により緊急事態の予防を図る。	非常に良く出来た。	○

【社長の評価】

- (1) リサイクル量の拡大は、取り扱い量の拡大に伴い、大きく目標は達成できた。しかしながら、中国への廃棄物や有価物の輸出がストップした関係で、国内に廃棄物が溢れ、中間処分場も分別してリサイクルするより、埋め立てや焼却のほうがコストがかからないため、リサイクル率は減少傾向にある。
- (2) 収集運搬車両の燃費向上については、よく達成できた。
- (3) 二酸化炭素排出量削減は、グリーン購入に取り組み、目標を達成することができた。  
エコキャップ提供は、協会で横領の事件が発覚し、休止となった。
- (4) 上水使用量削減は、洗濯回数・量が減ったため、削減できた。
- (5) 緊急事態の予防については、意識改革が進んだように思われる。ヒヤリハットが起きたら近  
日中に安全会議を開き、原因対策を話し合う事ができた。更なる徹底で事故 0 を目指したい。

6. 環境活動計画の内容と取組結果の評価

環境活動計画	取組結果	評価
コピー用紙、印刷物、パンフレット、トレットペーパー、名刺、その他用紙の再生紙への転換	コピー用紙、封筒、トレットペーパーで再生紙を使用中	5
空調の適温化	冷房 28 度、暖房 20 度で実施中	5
空調の保守点検	フィルター掃除を実施した。	5
照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理	徹底されている。	5
裏紙使用、両面コピーの徹底	徹底されている。	5
詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用推進	トナー、洗剤で使用	4
紙、金属缶、ガラス瓶、プラスチック等の分別回収ボックスの適正配置による分別の徹底	徹底されている。	5
作業時間、待機時間、走行距離の短縮	待機時間が発生しない引き取り時間の設定を徹底している。走行距離は最短距離で運行ルートを設定しており、走行距離の最短化を実現している。	5

環境活動計画	取組結果	評価
収集・運搬取扱量の平準化	受注の平準化を実施している。	5
アイドリングストップやエコドライブの実施	実施し、少しずつ効果に出てきている。	4
排気ガス、騒音・振動等を抑えるための適正な車両整備	日常点検、グリースアップ、を実施。	4
洗濯水の節水	従業員の協力により洗濯回数の削減。	5
リサイクル量拡大の為の、取引先に対する提案等	徹底されている。新規開拓もできている。	4

(評価点) 5点：90%以上 4点：70%以上 3点：50%以上 2点：30%以上 1点：30%未満  
(スケジュールに対する進捗度等の対計画比で評価する)

【社長の評価】

全体的によい。社内外で環境活動に取り組むなか、社員ひとりひとりの環境意識も高まり  
又やりがいに繋がり経営意識の高まり、今後も更に誇りをもって仕事に取り組めるようになってきていると思う。

7. 次年度の取組内容

目標	達成手段
収集運搬のリサイクル量の拡大	①運搬車両の稼働率向上 ②排出事業者に対する分別の提案 ③顧客の新規開拓 ④HPの更新
収集運搬車の燃費の向上	①アイドリングストップ ②エコドライブ ③エコドライブ講習 ④エコドライブステッカーの貼り付け ⑤走行ルートの見直し
二酸化炭素排出量削減 グリーン購入の推進	①燃費向上 ②省エネ、節電 ③節電シールの貼り付け ④カーボンオフセット(植林) ⑤グリーン購入
上水の使用量の削減	①洗濯水の節水 ②雨水の利用 ③節水シール表示
KYTの実施 ヒヤリ・ハット報告	①安全・環境ミーティングの開催 ②安全教育の実施 ③ヒヤリハット事例対策の実施



## 8. 代表者による見直し

8月20日に、社長により今年度の全体評価と見直しを行った。

目標達成となったため、3か年目標の改定は無しとした。次年度目標は以下の通り。

- (1)リサイクル量拡大は、H29年度実績を基準として、4%（3年計画で6%）拡大とする。
- (2)燃費向上は、H29年度実績を基準として、2%（3年計画で3%）向上とする。また、達成手段として、走行ルートの見直しを追加しさらに改善に取り組むこと。
- (3)二酸化炭素排出量削減は、カーボンオフセット、グリーン購入に取り組むこととする。  
グリーン購入は、H23年度現状を0品目として、プラス8品目（3年計画で9品目）の購入とする。
- (4)上水使用量削減は、H29年度実績を基準として、2%（3年計画で3%）削減とする。
- (5)年12回のKYT、毎月1件以上のヒヤリ・ハット報告による緊急事態の予防を図る。

## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

令和元年8月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、環境関係法令等への違反はない。

なお、過去3年間関係当局からの違反等の指摘はなく、また訴訟等もない。